



新入寮生（右側から 2、3 番目）を迎えて
全員集合 2023.6.3

米沢有為会
仙台支部だより

第 29 号

令和5年6月9日

発行者

(公社)米沢有為会仙台支部

支部長 甲 國信

仙台市青葉区角五郎2-6-21

TEL 022-222-4790

有為会の近況

コロナ禍により、仙台支部は令和2・3・4年度の3年間は支部総会をはじめ会員交流行事を開催することができませんでした。令和5年5月8日の5類感染症に移行の日に、寮で初めてコロナ感染者が発生しました。このまま感染が収束し一日も早く元の状態に戻れることを願っています。

▲仙台支部役員体制の変更

支部長の甲國信氏が一昨年12月から体調を崩し思うような行動ができない状態にあります。昨年6月副支部長の鈴木修治氏を支部長代行に選び当面支部活動を行うことを決定しました。ただし鈴木氏は現役で仕事があるので(支部長代行補佐)として理事の遠藤光広氏を選びました。今年度は支部総会を4年ぶりに開催します。

▲仙台興譲館の近況

昨年は新規入寮者が少なく、寮生数が定員15名のところこれまでで最も少ない7名にまで減少し、今年も2名の新入寮生が加わりましたが昨年と同じ7名の寮生で、相変わらず寮の運営に赤信号が灯るといふ問題が起きています。コロナ禍により、置賜の高校における寮の説明会の開催できません。そ

れを補うために令和2年末、仙台興譲館の案内動画を作りユーチューブにアップしました。サイトには3年間で約680名の訪問者がありました。しかし映像が暗い、二階の手すりに布団がかかって汚らしい、食事も実際より劣っている等のマイナスの意見もあり撮り直すことにしました。

仙台寮も建築から三十六年経過し、建物は大地震にもビクともせず頑丈ですが、内部の設備・器具等の老朽化が見られ、特に厨房のガス台の劣化、トイレの洋式化が残っています。

本部からカップ麺、マスク、空気清浄機また、支部会員や仙台寮OBから、マスク、体温計、レトルトカレー、カップ麺等が届けられ寮生は感謝しています。

コロナ禍が始まって以来、5月8日15類感染症に移行の日に、初めて寮でコロナ感染者が発生しました。症状は発熱、酔っぱらったような症状、味覚障害で一週間隔離しました。本人からの症状等の報告を次に載せておきます。

「コロナ5発症中は最初の二日は熱が最高39.5まで上がって頭痛に苦しみながら電池が切れるように何度も眠りにつき、熱が治まった後の三日間もくしゃみ、咳、痰が止まらず休むこともできないし倦怠感が抜けず勉強することもできない苦しい状態で大変でした。治った直後も体に上手く力が入ら

なかつたり味覚がうまく機能しなかつたりと軽い後遺症が残り、それも今は治りましたが今度は喉の機能が弱くなったからか咳が頻繁に出てそれなりに苦勞しています。近々医者で診察してもらおう予定です。」

▲会員の皆様へのご願ひ

支部にとって寮生不足の解消は当面する最大の課題です。寮生会とも連携し寮生の増加に努力します。コロナ禍の影響で収入が減り、家計への教育費の負担を極力抑えたい家庭は少なくないと思います。皆様の周囲に、仙台で修学を希望する学生にぜひ仙台興譲館をご案内いただきたく思います。置賜地区以外の出身者でも会員の推薦があれば入寮できます。関心を示された方には、ぜひ仙台興譲館に問い合わせるようにお勧めください。

▲会員異動

現在、会員数は八三名(賛助・正会員八二名、法人会員一社)です。これまで長い間会を支えて来られた会員の方が高齢となつて退会されています。今後この傾向はますます強まること予想されます。会員増強が課題となりますが、ここ約十年間在寮した卒業生に連絡を取り、有為会に是非加入し寮運営に援助をするよう呼びかけます。

▲支部だよりの発行

コロナ禍の下での支部からの情報発信と会員間の交流に、支部だよりは重要な役割を果たします。今年度も手作りで年二回の発行を予定しています。

仙台支部長 甲 國信 記

支部長退任のご挨拶

甲 國信

中條先生から支部長を引き継いだのが平成22年(2010年)で、以来13年矢の如く過ぎてしまいました。全く何もわからずに引き継ぎましたが、多くの方々のサポートにより何とか役目を果たすことができました。とくに有為会創立130周年記念事業としての仙台興譲館の改修では、トイレの改修や二重窓の設置等を行いました。加川巖理事の専門的知識と熱心な働きがなければ到底できなかったことです。人生100年時代、80歳の退任は早いと言えませんが、病氣、事故が相次ぎ歩行機の厄介になるようになって、退任を申し出ました。今後できることがあれば、お手伝いすることにやぶさかではありませぬ。これまで助けていただいた方々に感謝し、有為会の発展を

祈り退任のご挨拶といたします。

有為会仙台支部長就任にあたり

鈴木 修治

この度甲支部長の後任として仙台支部長を拝命頂きました。もとより微力ではありますが米沢有為会の主旨を守りながら精一杯努めたいと考えておりますので、どうか支部役員の方々そして会員の皆様方のご協力とご支援をお願いいたします。

私は大学での臨床医としての経験と共に行政組織におけるの務めも経験をしてきましたが、それらのことが有為会の運営などに役立つものかと思うこともございます。

有為会は設立以来育英事業始め様々な事業を行って置賜地方の人材育成に大きな貢献をしてきております。それらを引き継ぎながら活動を継続して行くことが求められる重い務めと考えております。

支部 だより
原稿募集

随想、旅行記、趣味など何でも結構です。次号は12月発行予定です。是非投稿ください。

新入寮生の感想文

東北大学理学部数学科 大橋 陽

1か月大学生活をしてみて、成長したなと思うのは課題やタスクをなるべく早くこなすようになったところです。高校生の私は、やらなきゃいけないことがあってもなかなかやる気が出ずに、期限ギリギリまで先延ばしにしてしまう癖がありました。このような変化が生じた理由は大学や社会では「自己責任」という考え方が、これまで通ってきた学校よりも強く根付いているからではないかと思えます。例えば、高校では多くの人が同じ時間割を共有しているの、課題をため込んでしまつても友達に尋ねれば整理がつかなくなることはありませんでした。しかし、大学では全く同じ時間割を組んでいない人はいないかと思いませんので、課題をすべて確認しあうということは難しくなりました。従つて、友達を当てにできるかはわからないから、課題を早く済ましてしまおうという気持ちになるのだと思います。

私が大学で勉強をしているのは、数学者になつて「結び目理論」を研究するためです。結び目理論とは、端を持たな

い輪、「結び目」を定義し、様々な結び目類別しようという数学の研究テーマの一つです。この研究テーマの良いところは「現実的なもの」が対象になっていることで、私たちは身近なものからインスピレーションを得ることができません。例えば、絡まった電気ケーブルは面白いですが、これには両端が存在しているのに結び目ではありませんが、その両端をつなぎ合わせれば結び目として認識することができます。これを見れば、まずその結び目を直管を用いて弄繰り回しながら、ほどけるか、または基地の結び目ではないかを調べます。わからなかった場合、次にその不変量（結び目の特徴となる数字）を可能な分だけ調べて、本とインターネットで集めた結び目のリストと照らし合わせてみます。そうすると、この電気ケーブルが実は数学的に興味を集めているものだったり、少し変化させればすごく難解なものになったり、そこから次々に新たな結び目を作り出せたりするかも知れません。私は結び目理論、広く言えば数学を学ぶということは、ありふれたものが面白く見えるようになるメカネを得ることにつながると考えています。その研究に没頭することができず、数学者という職業は私にとってすごく魅力的です。

この夢を叶えるために必要なことは

授業内容外の学習だと考えています。

数学者になるということは簡単なことではないと思います。それ故に、試験のために勉強しているのではないつか息が切れてしまうと思うのです。「やらなきゃいけない勉強」も大事だとはわかっていいますが、自分が本当に楽しいと思えることを学んでいくという姿勢を大切にしていこうと思います。

東北大経済学部 渡部 勇真

東北大学に入学し、早2カ月が経とうとしています。私にとって東北大学に入学してからの経験は非常に感銘深く、将来に向けた決意を強めることができました。東北大学は、全国各地や世界各地から学生が集まっており、国際色豊かな環境を有しています。この点が私にとって最も魅力的であり、多様な文化や考え方と触れ合いながら、自身の成長を遂げることができていることに感謝しています。

入学当初から、東北大学のキャンパスは学問と研究の活気にあふれていました。優れた教授陣や先進的なカリキュラムが提供され、さまざまな分野での知識を深める機会を得ることができました。

東北大学での学びを通じて、私は地元への貢献についての強い意識を持つ

ようになりました。東北地方は、過疎化や人口減少など、さまざまな課題に直面しています。私は地元の山形の課題を解決するために、学んだ知識や経験を活かし、地元の発展に貢献したいという思いを抱くようになりました。さらに、私は地元に貢献するだけでなく、世界のために持続可能な社会創成に貢献する人材になりたいという思いを抱くようになりました。東北大学での学びや経験を通じて、持続可能な社会の構築と環境保護の重要性を深く理解しました。地球規模の課題である気候変動や資源の枯渇などは、私たちが直面している現実です。私はこのような課題に対して無関心ではありません。むしろ、主体的に解決に向けて取り組み、世界全体の持続可能性を高めることが重要だと考えています。

持続可能な社会創成に貢献するためには、幅広い視野と深い知識が必要です。そのために、東北大学での学問的な学びを通じて、専攻する経済学だけでなく、科学技術や社会科学などの分野においても知識を習得し、多面的な考え方ができるようになりたいです。

そして、持続可能な社会創成に貢献する人材として、グローバルリーダーとしての役割を果たしたいと強く思っています。私の専攻分野や研究テーマにおいて、政策提言を通じて社会に新

たな変革をもたらすことができると願っています。また、持続可能な社会を実現するための意識啓発や教育活動にも積極的に関わり、次世代の人々に持続可能性の重要性を伝えることも大切だと考えています。

さらに、私の東北大学での充実した学びができるのは、学生生活を大幅にサポートしてくれる仙台興譲館寮のおかげだと感じています。私は、会員の方々の温かいサポートのおかげで、充実した寮生活を送ることができています。この場を借りて、心からの感謝の意を表したく思います。

総括すると、東北大学での経験は私にとって大変意義深いものであり、多様な性のある学生環境や実践的な学びの機会に恵まれています。私はこの素晴らしい環境を活かし、自身の学びを深めつつ、将来は世界に貢献することを目指して頑張っていきます。

会員異動

入会

大橋 考範 (賛助会員)
渡辺 真司 (賛助会員)

退会

手塚 悟 (賛助会員)

2021年逝去

船山 完 (正会員)

2023年2月2日逝去

宮田 愛彦 (賛助会員)

2023年1月 退会

仙台支部年間行事予定

※仙台興議館行事

※4月8日(土) 大掃除・寮生総会

■4月

※春の交流会(寮生会主催) (会場: 仙台興議館)

※6月 延期

令和5年度仙台支部通常総会・講演会

6月24日(土)

会場:スマイルホテル仙台区分町

講演会講師:上野雄規氏(東北植物研 研究会会長)

演題「牧野富太郎と米沢出身植物学者小泉源一の業績」

※6~7月前期リクレーション行事

■6月25日(日)

令和5年度米沢有為会定時総会

会場:米沢市「伝国の杜」

■8月以降の支部行事

夏の交流会(七夕前夜祭・広瀬川原花火鑑賞会)

秋の交流会(芋煮会)

※9月24日(日) 大掃除・寮生総会

未定

未定

未定

未定

未定

※11月 後期リクレーション行事

■12月

※忘年会(寮生会主催) (会場:仙台興議館)

■1月

※1月14日(土) どんと祭

※新年会兼卒業生歓送コンパ(寮生会主催) (会場:仙台興議館)

※1月上旬 第一次入寮面接

※2~3月 温泉旅行又は食事会

※3月上旬 第一次入寮面接

※3月中旬 第二次入寮面接

※3月下旬 第四次入寮面接

※3月 末日 寮生総会

※3月 末日 寮生総会

※3月 末日 寮生総会

※3月 末日 寮生総会

仙台興議館だより

仙台興議館寮生名簿

大橋 陽 (東北大学理学部数学科1)

【米沢興議館高校R5卒】 米沢市出身

渡部 勇真 (東北大学経済学部1)

【長井高R5卒】 長井市出身

菅 桜太郎 (東北大学経済学部2)

【長井高R4卒】 白鷹町出身

杉山 綾太 (東北大学工学部材料科)

学総合2) 【長井高R4卒】

小国町出身

日下 和也 (東北医科大学薬科大学薬学部3) 【米沢興議館R3卒】

高島町出身

◎令和5年度前期 寮長

鹿又 桂司 (東北大学経済学部4)

【米沢興議館R2卒】 南陽市出身

鈴木 優 (東北学院大学経済学部4)

【米沢商業R2卒】 米沢市出身

【卒業生】

二瓶 太陽 (東北福祉大学総合マネジ

メント学部産業福祉マネジメント学

科卒業) 米沢東H28卒 米沢市出

身

渋谷 拓 (東北大学大学院情報科

学研究科M卒業) 【米沢興議館H29

卒】 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身

卒 米沢市出身



牧野富太郎 55歳

寮の近隣の植物

牧野富太郎(朝ドラ 牧野万太郎)

今年の総会後の講演会講師は東北植物研究会会長上野雄規氏で、演題は「牧野富太郎と米沢出身植物学者小泉源一の業績」です。

4月からNHK朝ドラで植物学者牧野富太郎をモデルにした「らんまん」が始まりました。

私は「宮城植物の会」に50年以上所属し、観察会やレッドデータ植物の調査をおこなっていますが、上野氏はその仲間です。上野氏はそれだけでなく、牧野富太郎に憧れ、県を超えて東北全体の植物相(フロラ)を明らかにしようとしています。

牧野は94年の生涯で全国各地の山野を歩き植物を数十万点採集しました。宮城県にも山形県にも採取に行き、牧野の指導を受けた者は多い。米沢市林泉寺町出身の元京都大学教授の小泉源一もその一人である。東大の選科生の時は、牧野の家に下宿し、牧野の長女鶴代をかわいがったとある本に書いてあります。上野氏の講演に期待したいと思います。

(滝口政彦)

編集後記: 新型コロナの影響で会員の皆様に3年半以上お会いしていませんがやっとお会いできます。ワクチンも6回接種しました。コロナも早く納まりますように。

責任者 滝口政彦